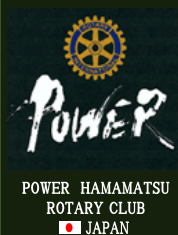


国際ロータリー第2620地区
静岡第5グループ



週報 パワー浜松ロータリークラブ

共感の架け橋、慈愛の奉仕

RI 会長 杉川・ハム・パ・ロ / 第 2620 地区ガバナー 若林秀典 / 会長 華岡博之 / 幹事 松本由紀彦
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 Tel:053-452-0800
Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp
創立: 2002 年 10 月 22 日 認証伝達式: 2003 年 4 月 29 日 スポンサークラブ: 浜松中 R C

持続可能な
インパクトを
生み出そう



Rotary

第1059回例会7月14日(火)AM7:30~8:30

- 会場: オークラクトシティホテル浜松 3 階 チェルシーの間
- 司会: 坂井光藏 武井政倫
- 点鐘: 華岡博之
- 週報: 中野敬司
- ロータリーソング: 「夢のみずうみ」
- ゲスト: 無し

出席報告/スマイル報告

会員数 68 名 (内出席免除会員 1 名)
出席数 52 名 出席率 77.61%

スマイル提出者氏名掲載
堀内善弘さん
大石莉帆さん

会長挨拶 会長 華岡博之

皆さん、おはようございます。会長として二回目のご挨拶をさせていただきます。先週は、「人生は矛盾とうまく付き合うものではないか」というお話をさせていただきました。今日は、「引き出し」のお話をしたいと思います。

実は今月一日、『ひきだし』という本を出版いたしました。「引き出し」という題名には、一人ひとりの人生には、それぞれの経験や知恵がしまわれている、そんな思いを込めています。私は四十歳で医師から外交官になりました。周りからは、「なぜ今さら」と何度も聞かれました。その後、マダガスカル、ブラジル、パプアニューギニア、ルーマニア、リビア、イギリス、カンボジアと赴任しましたが、振り返ってみると、どの国でも新しい知識を得たというより、自分の中の新しい「引き出し」が増えていったように思います。

医師としての経験も、外交官としての経験も、今、地域医療に携わっていることも、すべてがどこかでつながっています。ロータリークラブも同じではないでしょうか。このクラブには、さまざまな職業、さまざまな人生を歩んでこられた方がおられます。

一人ひとりが、それぞれ違う「引き出し」を持っています。例会とは、その引き出しを少しだけ開けて、お互いに見せ合う時間なのかもしれません。自分には当たり前経験でも、誰かにとっては大きな学びになることがあります。だからこそ、例会では遠慮せず、ぜひ多くの方とお話をさせていただきたいと思います。今年度の私のテーマはクラブの名称にあるように「パワー」です。私は、このパワーとは、力の強さではなく、一人ひとりの経験や知恵を持ち寄る力だと考えています。

最後に、今日の「ひきだし」を一つ。

「人生の価値は、どれだけ多くの引き出しを持つかではなく、誰かのためにその引き出しを開けられるかで決まる。」
今年一年、皆様と一緒に、お互いの引き出しを開け合えるクラブにしていきたいと思っています。本日もどうぞよろしくお願いいたします。堀内エレクトが有志を募って盛り上げてくれています。ありがとうございます。また、いつも事務局として支えてくれている高柳さんありがとうございます。

ラジオ体操中の会長



幹事報告 幹事 松本由紀彦



①会費引落について

口座振替の方は今月 25 日に引落されます。前日までに残高の確認をお願い致します。請求書は例会後にオールパワー致します。

②ガバナーと新入会員交流会について

9 月 1 日の例会にガバナー公式訪問があり例会終了後新入会員との交流会が予定されております。日が近くなりましたら入会 3 年未満の方に出席依頼のお声掛けを致します。

■ 青少年交換学生受け入れに当たって、注意事項と概要についてクラブ内で共有したいと思います。

◆ロータリー青少年交換とは①

クラブによる支援の下、15～19歳の学生が海外に滞在し、言語や文化を学びながら、海外に友人をつくり、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムです

・交換プログラムの目的

- ⇒国際理解と親善の心を育む
- ⇒青少年のエンパワメントを通じて好ましい変化を生み出す
- ⇒プログラムに参加する受入クラブ、ホストファミリー、地域社会、学生の間に関係を築く

◆ロータリー青少年交換とは②

・実施主体

⇒地区ガバナー > 地区青少年交換委員(長) > 各クラブ(後述)

・交換の期間

⇒約1年間

・交換中の滞在先

⇒複数のホストファミリー宅

・交換の費用

⇒受け入れ側クラブが宿泊、食事代、学費を負担
⇒本人負担 往復航空券、旅行保険、旅券・ビザ代、小遣い

・申請方法

⇒送り出し側クラブが受け付け、地区にて決定

◆パワー浜松の経済的負担類

項目	概算金額	備考
国民健康保険保険料	1,000～2,000円程度/年	ホストファミリー宅にて一人世帯として住民登録の上、加入
携帯電話通信料等	???円/月	携帯電話の契約、月々費用の負担
学校活動に必要な費用	20万円～30万円程度	制服、教科書、部活動用品など
学生への小遣い	10,000円/月	使途は定めない
ホストファミリーへの支援	50,000円/月	使途は定めない

※上記とは別に、ホストファミリー宅において発生する諸事に掛かる費用はホストファミリーが負担する。

◆パワー浜松としての体制

役職	名前	役割
会長	華岡博之	クラブ全体の最高責任者
幹事	松本由紀彦	クラブ運営・事務
担当委員長 (国際率仕委員会)	熊谷真一	プログラム運営責任者 クラブとの橋渡し役 地区委員会との橋渡し役
カウンセラー	豊田充孝	学生の相談役 学生の帰国者で一番の相談相手 毎月5日にカウンセラーレポート提出義務
ホストファミリー1	長谷川隆是	2026年8月-12月を担当 受入学生住民票所在地を提供 ホストファミリーレポート提出義務
ホストファミリー2	熊谷真一	2026年12月-2027年4月を担当 ホストファミリーレポート提出義務
ホストファミリー3	鶴信雄	2027年4月-8月を担当 ホストファミリーレポート提出義務
ホストファミリー4	知久武	緊急時のバックアップ

◆ホストファミリー、クラブメンバーの心得

- ご家庭でのルールの徹底
受入学生はお客ではありません。来日当初にご家庭内のルールなどを伝え、家事手伝い等もさせていただきます。
- 明確なYES/NO
YES/NOをはっきり伝えてください。中途半端な返答は学生は都合のいいように解釈します。
- 家庭内での会話
出来る限り日本語で話そうにしてください。食事は一緒に取り、日常の出来事をたくさん話そうに心がけてください。一人で部屋に籠ることがないように、ご協力をお願いします。
- 安全第一
通学途中などでの事故に注意をさせてください。また、門限、交友関係、外出などに気を配ってください。家族が不在の時にひとり留守番する場合や帰宅する場合もあるため、家の鍵は事前に渡してください。
★住む場所を用意することは本プログラム青少年保護分野の義務です
- 食事について
ホストファミリーのお母さんが悩まれるのが食事内容です。特別な料理を考える必要はなく、普段通りの食事でも十分です。ただし、宗教上やアレルギーなどの理由で食べられない場合もあるため、それにはご配慮願います。日本食の中には苦手なものも出てくると思いますが、挑戦することひとつひとつが経験になります。体調を崩すほどの拒食などがある場合は速やかに受入RCや地区委員会にご連絡ください。
★1日3食の食事を用意することは本プログラム青少年保護分野の義務です
- 日常生活
高校生の子供は育ちざかりなので間食も多く、1日に数回シャワーを浴びることもあります。自由にさせすぎるのは問題に発展しますが、ぜひお互いが気持ちよく過ごせるようにコミュニケーションを図ってください。
- ホストファミリーレポート(毎月5日)
ホストファミリーから見た受入学生の様子を毎月5日までにYESSへアップロードしてください。

◆ホストファミリー、クラブメンバーの心得

4D

- 1: Drinking 飲酒
- 2: Driving 自動車・オートバイ等の運転
- 3: Drugs 違法薬物等の使用
- 4: Dating 不適切な交際・恋愛・性的関係

※カウンセラー・ホストクラブの役割

受入側では、4Dを単に「禁止事項」として伝えるだけでなく、来日時のオリエンテーションで内容を説明する。学生がルールを理解していることを確認する。違反の兆候があれば早期に相談・指導する。問題が発生した場合は、クラブだけで抱え込まず、速やかに地区青少年交換委員会と連携する。

◆ハラスメント防止

【国際ロータリー青少年保護：2.120.1 Rotary Code of Policies — Youth Protection】

- 安全で支障のない環境を提供すること
青少年が安心して学び、成長できる環境をつくるのが最重要とされています。
そのために、ロータリーは虐待・ハラスメントを一切許容しないという強い姿勢を取っています。
- あらゆる形態の虐待・ハラスメントを禁止
国際ロータリーは、次の行為を明確に禁止しています。
「身体的虐待」「性的虐待」「性的ハラスメント」「精神的・心理的虐待」「差別・いじめ」「不適切な接触や関係」これらはゼロ・トレランス(絶対に許さない)とされています。
- すべての関係者に教育とトレーニングを義務付け
- 透明性のある報告体制を整え、「疑いがあれば即時報告」
- 1対1の状況避ける(Two-Deep Leadership)
青少年保護の基本原則として、大人1人と学生1人だけの状況避けることが強調されています。
例：
車での送迎は2人以上の大人が関わる
家の中でも個室を避ける
学校外活動は複数の大人が同席する
- 文化差を理解し、境界線を尊重する
国際プログラムであるため、文化の違いによる誤解や不適切な接触を避けるための配慮が求められています。

◆お願い

- 年間予定表を共有していきますので以下の事を是非ともご協力ください。
- ・平時においてご自宅へのショートステイ(数泊程度)を受け入れる事
 - ・平時において余暇活動へ誘い出すこと
※各ホストファミリーとの調整をお願いします。
※学校都合で平日昼間に予定が空いてしまう事が幾つか想定されます。
 - ・クラブ例会参加時に積極的に日本語で話しかける事
※別掲した年間カレンダーのように例会、IM、地区大会へ参加します。
予定は断りなく変更になることがあります。